

**第3期日高市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する  
市民コメント募集結果**

No	当ページ番号・項目番号など	ご意見	市の考え方
1	全体を通して	<p>本総合戦略は行政が策定するもので公用文に該当します。公用文の作成に当たっては基準やガイドラインがあります。</p> <p>① 正確に書く、分かりやすく書く、気持ちに配慮して書く。本総合戦略を推進する上で、市民にとって分かりやすいものとなるよう仕上げてください。</p> <p>② 常用漢字表に原則拘束されます。平仮名が妥当かと思われる言葉の表記については、よく検討してください。</p> <p>③ 「等」や「など」が大変多くあります。これらは具体的に何を指すのか分かりません。本当にその箇所に「等」や「など」が必要かどうか吟味してください。</p>	<p>ご意見のとおり、可能な限り市民にとって分かりやすい計画となるよう見直しをまいります。</p>
2	後期基本計画（実施計画）への反映	<p>本総合戦略は国が示した「地方創生2.0基本構想」（略）などをベースに基づき策定されています。これらの趣旨はなかなか難しく、本総合戦略に落とし込んでいくこともまた、難しいものがあったと思います。しかしながら達成指標としてKGIやKPIを設定しました。5年間の計画期間では、財政上厳しいと思われるが事業課とも調整の上、費用対効果を勘案し、具体的に実施計画に反映して地域ビジョン（将来都市像）を目指していただきたいと思っています。</p>	<p>ご意見のとおり、事業課との調整や費用対効果を勘案し、必要に応じて見直しを行い、地域ビジョン（将来都市像）の実現を目指してまいります。</p>
3	本総合戦略の周知（説明会の実施）	<p>計画を策定するまでには、庁内や審議会での議論などを通じて、多くの予算や時間をかけて策定されています。一生懸命努力して策定されても市民や企業に周知され認識されなければ、費用対効果はゼロです。令和8年度から本総合戦略と総合計画後期基本計画（政策秘書課）、男女共同参画プラン（総務課）、環境基本計画（後期）（環境課）が同時期にスタートします。本年4月末頃から各公民館で市民や企業への説明会の開催を提案します。いくらいことが書いてあっても市民や企業の協力や理解が進まない計画の理念は浸透しないと思います。単独での開催でもよろしいかと思います。</p> <p>行政としては、福祉、教育、産業などのあらゆるセクションで、自治会の集まり、各種会議などの機会を通じて、地道に意識啓発を行っていくことが早道かとも思います。</p>	<p>ご意見を踏まえ、市民や企業のほか、多くの方への周知方法を検討してまいります。</p>